

新幼保連携推進 計画ってなに？

大阪狭山市教育委員会こども政策部



計画策定の背景

少子化による就学前児童の減少

- ・市立幼稚園の園児の減少 望ましい集団づくり
- ・保育のニーズの高まり 待機児童の発生
- ・子ども・子育て支援新制度の施行

家庭や地域における子育て力の低下

- ・子育ての孤立感と負担感の増加

など

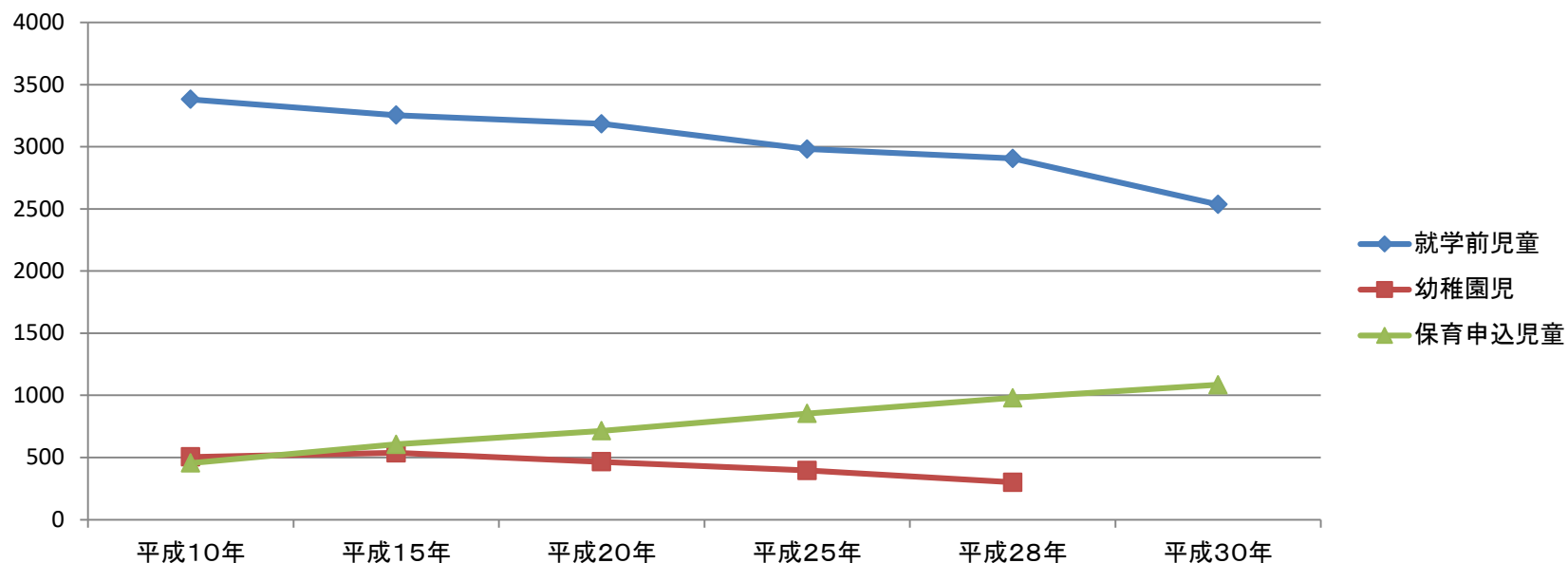


就学前児童数等の推移

各年4月1日現在

年	就学前児童	市立幼稚園・市立こども園		保育所・認定こども園		
		園児数	就園率	保育申込児童	保育ニーズ	保育児童
平成10年(1998年)	3,381人	504人	45.2%	455人	13.5%	428人
平成15年(2003年)	3,254人	537人	46.8%	606人	18.6%	570人
平成20年(2008年)	3,184人	465人	42.6%	715人	22.5%	695人
平成25年(2013年)	2,982人	395人	36.9%	854人	28.6%	815人
平成28年(2016年)	2,906人	300人	29.8%	980人	33.7%	954人
平成30年(2018年)	2,535人			1,085人	42.8%	

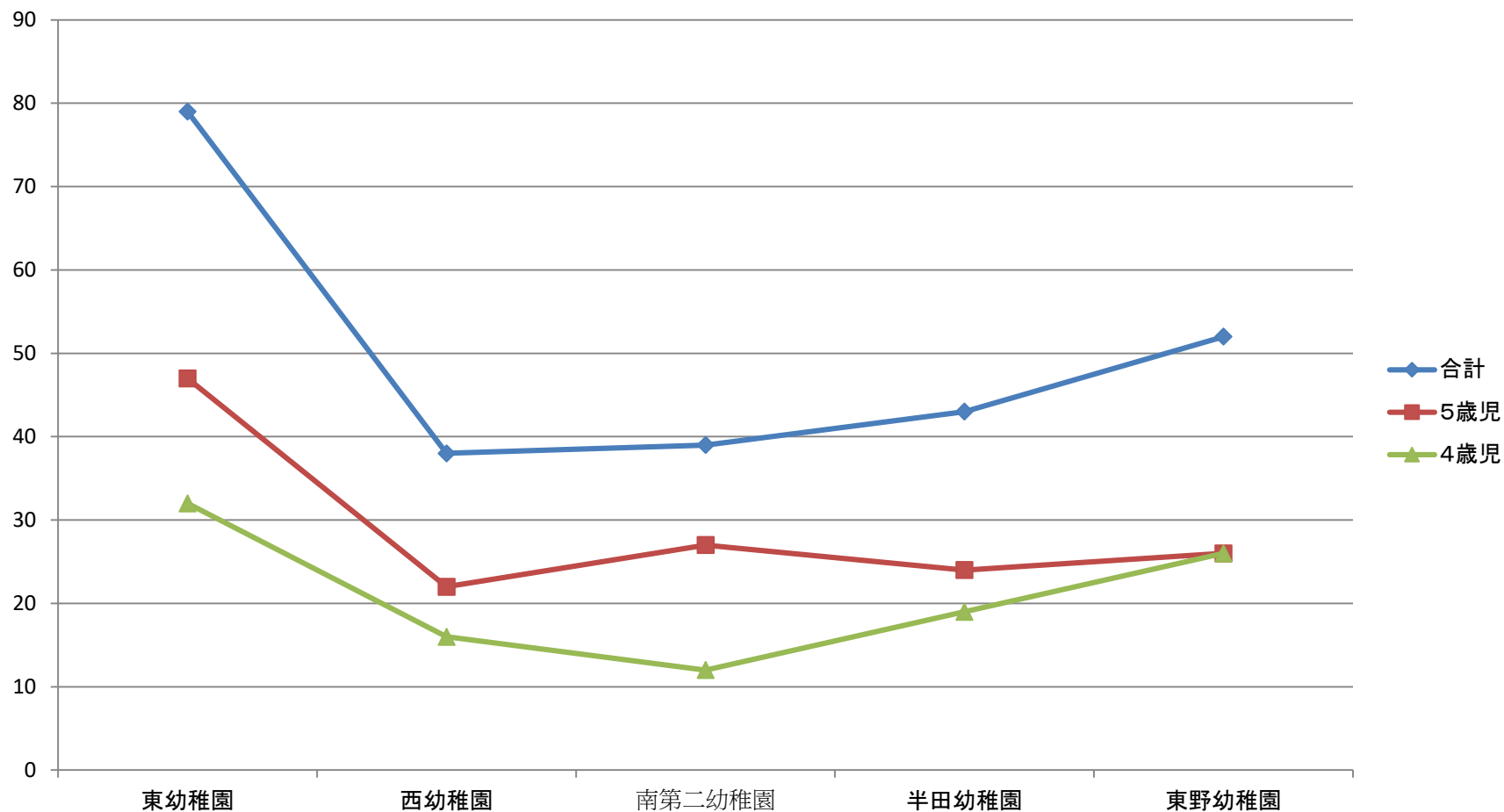
* 平成30年の数値は、子ども・子育て支援事業計画策定時の推計値



市立幼稚園の園児数

平成28年4月1日現在

学年	東幼稚園	西幼稚園	南第二幼稚園	半田幼稚園	東野幼稚園	全体
4歳児	32人	16人	12人	19人	26人	105人
5歳児	47人	22人	27人	24人	26人	146人
合計	79人	38人	39人	43人	52人	251人



子育て支援拠点施設の状況

拠点施設名	開設年 及び中学校区	中学校区の 乳幼児数 (0～2歳児)	備考
地域子育て 支援センター わんぱくプラザ	H12年 狭山中学校	695人	池尻保育園の子育て支援事業として実施
市立子育て 支援センター ぽっぽえん	H18年 南中学校	365人	南第一幼稚園の廃園施設を活用して設置
ファンズガーデン	H17年 第三中学校	340人	くみの木幼稚園の廃園施設を活用して設置

本市の課題

- 将来を見据えた教育・保育施設の整備
- 保育ニーズに応じた保育の提供体制の整備
- 質の高い教育・保育の提供
- 子育て支援拠点施設の適切な配置

計画の推進方向

1. 市立幼稚園再編

再編の基本的な考え方

- 5か所ある市立幼稚園施設（または敷地）の有効活用
- 望ましい集団を維持するため一部を認定こども園に移行
- 存続する幼稚園の充実

各幼稚園の再編

市立幼稚園として今後も運営 東幼稚園・半田幼稚園・東野幼稚園

魅力ある幼稚園づくり

○3年保育（3歳児の受入れ）の実施
○夏休み中も含めた預かり保育の実施 } 平成29年度から
（市立こども園も同じ）

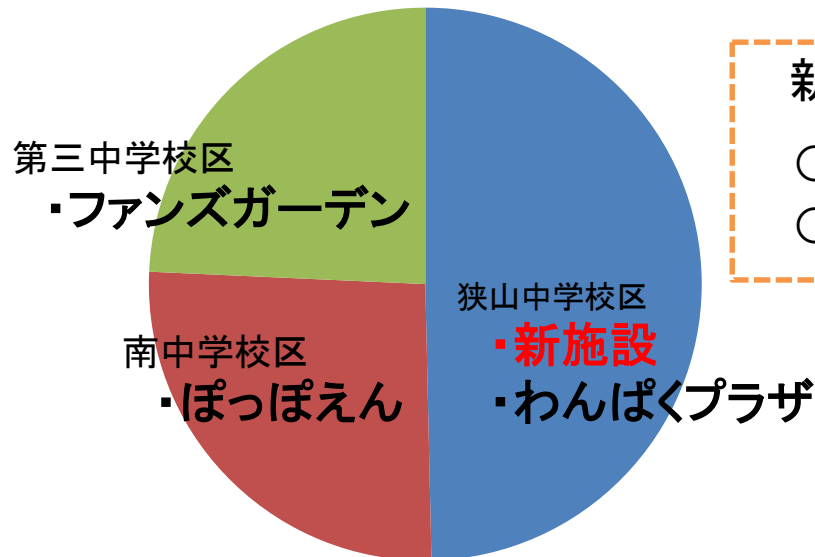
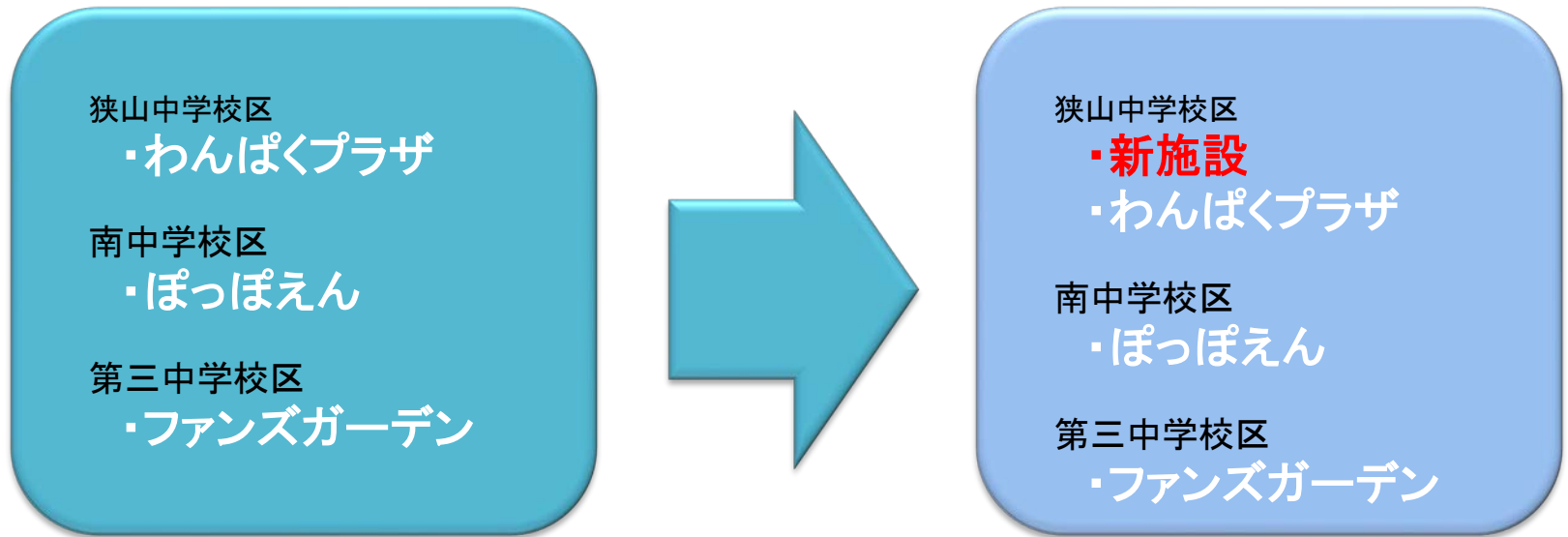
■給食の提供・・・・・・・・実施時期、実施方法は未定

認定こども園へ移行 西幼稚園・南第二幼稚園

設置する認定こども園

区 分	内 容
類型	幼保連携型認定こども園
開園時期	平成31年(2019年)4月（予定）
利用年齢	保育利用:乳児～5歳児 教育利用:3歳～5歳児
設置・運営の主体	学校法人又は社会福祉法人

2. 子育て支援拠点の適切な配置



新施設

- 狭山中学校南側の市有地に建設
- 中学生をはじめとする世代間の交流

事業の実施スケジュール

(1) 認定こども園の設置 ■対象施設:西幼稚園、南第二幼稚園

平成28年度	・平成29年度入園児の募集を停止 ・認定こども園の設置・運営事業者の選定
平成29年度	・年長児のみで幼稚園を運営 ・幼稚園の廃園(年度末)
平成30年度	・施設整備工事 ・認定こども園として園児募集
平成31年度	・認定こども園の開設

(2) 市立幼稚園の充実 ■対象施設:東幼稚園、半田幼稚園、東野幼稚園

平成28年度	・平成29年度入園の3歳児・4歳児を募集
平成29年度	・3歳児の保育(3年保育)の開始 ・預かり保育実施日の拡大(長期休業中を含む)

(3) 子育て支援拠点施設の整備 ■設置予定地:狭山中学校南側市有地

平成28年度	・施設に付加する機能などの基本構想を決定 ・施設の設計
平成29年度	・施設整備工事
平成30年度	・施設開設